

機関誌『図書館の学校』電子書籍を公開

公益財団法人図書館振興財団は、機関誌『図書館の学校』(2024年夏号)特集『小学生の部(低学年)』の作品を考える『図書館を使った調べる学習コンクール®』からみた低学年の調べる学習とは』(p.4~p.8)を、音声読み上げ等に対応したリフロー型電子書籍として公開します。



——読書バリアフリー法は、地方公共団体は努力義務ですが、国に対しては基本計画を策定することを義務付け、公立図書館、大学図書館、学校図書館の公立学校並びに国立国会図書館(NDC)と電子書籍が読者の対象となっています。そこで今回は、国立国会図書館勤務の村要さんに現状と課題、今後について伺います。どうぞよろしくお願いたします。

村要さん(以下、村)

ぜひこのようにお願いたします。

——村さんは長年、電子書籍普及など障害アクセスナビリティについて研究されておられます。



図書館振興財団は、『図書館の学校』(2024年春号)で読書バリアフリー法について特集したのを契機に、本誌のアクセシビリティについても検討をはじめました。

今回は、2024年夏号の特集記事(p.4~p.8)を、視覚に障がいがある方や紙の本の読書に困難がある方にも読んでいただけるよう、レイアウト固定のフィックス型ではなく、音声読み上げ等に対応したリフロー型電子書籍として公開します。

今回公開する電子書籍には、不便なところや改善すべきところがあるかもしれません。トライアルと位置づけ、よりアクセスしやすい電子書籍を模索していきます。お気づきの点やご感想をお待ちしております。

秋号以降も、リフロー型電子書籍を公開予定です。

【公開日】

2024年9月19日(木)

【今回の公開内容】

[\(1\)『図書館の学校』\(2024年夏号\)特集:「小学生の部\(低学年\)」の作品を考える](#)

「図書館を使った調べる学習コンクール®」からみた低学年の調べる学習とは

[\(2\)同号コラム:「礫川の風」\(vol.6\)事務局長 佐藤達生](#)

組織概要

公益財団法人図書館振興財団

理事長 小澤嘉謹(おざわよしのり)

所在地:東京都文京区小石川5-2-2 設立年:2008年

図書館の振興を目的として、2008年に設立。2012年公益認定を受け、公益財団法人へ移行。「図書館を使った調べる学習コンクール®」の主催など図書館を起点に”ひとの成長”と”まちの活性化”を支援する活動を行っています。

本リリースに対するお問い合わせ先

問い合わせ先:機関誌担当

担当:柏原

電話:03-3868-8743

Email: info@toshokanshinko.or.jp

Web: <https://toshokan.or.jp>

<参考資料>

公開方法

各電子書籍にアクセスする URL を当財団ウェブサイト、SNS 等で公開

【Website】<https://toshokan.or.jp>

公開中の電子書籍

2024 年春号 特集『読書バリアフリー法について考える』

【Website】<https://toshokan.or.jp/news/show/3407>

仕様

株式会社 VOYAGER デジタル出版ツール Romancer(ロマンサー)で作成

【Website】<https://romancer.voyager.co.jp/>

『図書館の学校』公益財団法人図書館振興財団の機関誌

年 4 回(6 月・9 月・12 月・3 月)発行・季刊 2000 年(平成 12 年)創刊

B5 判、4 色刷、48 ページ、発行部数 2000 部

読者は当財団「友の会」会員、定期購読者(個人・法人・公共図書館・大学図書館等)

※上記は紙の本として

【Website】<https://toshokan.or.jp/bulletin/>

以上